

第30回 聖学院中学校・高等学校タイ研修旅行 「ジブンゴトを社会課題化する」12月19日出発 山岳少数民族の生活体験など13日間の異文化交流・地域探究活動

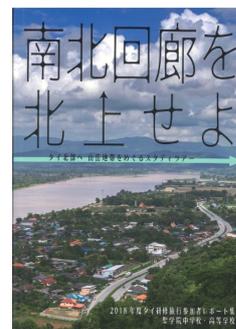
聖学院中学校・高等学校（東京都北区、校長：角田秀明）の中学3年から高校2年の生徒、32名が12月19日（木）より31日（火）までの13日間のタイ研修旅行に出発します。参加生徒の学年の内訳は中3生10名、高1生19名、高2生2名、高3生1名。昨年は「社会課題をジブンゴト化する」をテーマとしましたが、今年は「ジブンゴトを社会課題化する」。個人的な問題意識を刺激し、個人の関心の延長線上に社会課題を位置付ける方向で事前学習を進めています。タイ研修旅行のプログラムでは山岳少数民族を支援するメーコック財団やアプアリ財団を訪れ団体の活動に参加、山岳少数民族の村にホームステイをし、現地の生活を体験します。チェンマイの学校ではゴミ問題をテーマとして、LEGOを使ったワークを実施します。帰国後は研修旅行を振り返り、個人の関心から見出したタイの社会課題に着目し、レポートを作成します。参加生徒たちの書いたレポートは『タイ研修旅行レポート集』としてまとめられ、発行されます。

【ポイント】

- 聖学院中高のタイ研修旅行の始まりは1991年。当時、聖学院中高の教員だった戸邊治朗前校長先生が、現地でツアーガイドをしていたピパットさんらと「メーコック・ファーム・プロジェクト」を立ち上げて以来続く研修旅行で、今回が第30回となります。
- 事前学習では「社会課題解決中MAP」というWEBサイトを使って、ソーシャルアクションと社会課題について学ぶワークを実施しました。（参照：NPO法人ETIC. 社会課題解決中MAP <https://2020.etic.or.jp/>）
- 『タイ研修旅行レポート集』は11月の記念祭（文化祭）で販売され、その収益はメーコック財団、アプアリ財団などに寄付されます。



昨年の様子
現地の子どもたちと
意気投合。



2018年レポート集
『南北回廊を北上せよ』
A5判、202ページ

※学校法人聖学院はグローバル・コンパクトに署名・加入しSDGsをめざした活動を行っています。

※SDGs…2030年までの実現をめざし掲げられた、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標」



【取材に関するお問い合わせ】

学校法人聖学院 学院広報センター 担当 松田・萩野

Tel:03-3917-8530 Email:pr_h@seigakuin-univ.ac.jp

www.seig.ac.jp

《参考》

学校法人聖学院

創立 1903年

〒114-8574 東京都北区中里3-12-2

【教職員の概要（本務）】

大学教員 97

中高教員 114

小幼教員 32

教員計 243

職員 119

※ 教職員数は2019年5月1日現在(大学院ならびに総合研究所教員は大学教員の内数)

【聖学院各校情報】

所在地 学校法人聖学院

〒114-8574 東京都北区中里3-12-2

聖学院大学・聖学院大学大学院 学生数：2,109

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1

聖学院中学校・高等学校 生徒数：900人

〒114-8502 東京都北区中里3-12-1

女子聖学院中学校・高等学校 生徒数：764人

〒114-8574 東京都北区中里3-12-2

聖学院小学校 児童数：429人

〒114-8574 東京都北区中里3-13-1

聖学院幼稚園 児童数：129人

〒114-8574 東京都北区中里3-13-2

聖学院みどり幼稚園 児童数：96人

〒331-0045 埼玉県さいたま市西区内野本郷820

※学生・生徒・児童数は2019年5月1日現在